

製品安全データシート

1・製品等及び会社情報

化学物質等の名称（製品名）：ホイールコート
 会社名：株式会社ユーエスシー
 住所：〒183-0044 東京都府中市日鋼町1丁目1番 Jタワー
 担当部門：商品開発広報部
 電話番号：042-351-0011 FAX番号：042-351-0010
 URL：http://www.usccom.co.jp
 推奨用途及び使用上の制限：自動車ホイール用【業務用】

2・危険有害性の要約

GHS 分類

| | | |
|-----------|-------------------|------------|
| 物理化学的危険性 | 引火性液体 | 区分2 |
| | 急性毒性（経口） | 区分外 |
| 健康に対する有害性 | 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 | 区分2 |
| | 生殖細胞変異原性 | 区分1 |
| 環境有害性 | 生殖毒性 | 区分1 |
| | 特定標的臓器・全身毒性（単回暴露） | 区分3（麻酔作用） |
| | 特定標的臓器・全身毒性（反復暴露） | 区分3（気道刺激性） |
| | 水生環境急性有害性 | 区分1（肝臓） |
| | 水生環境慢性有害性 | 区分1（神経） |
| | | 区分外 |

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報



危険
引火性の高い液体及び蒸気
強い眼刺激性 遺伝性疾患のおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
長期又は反復暴露による肝臓の障害
長期又は反復暴露による神経の障害のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
眠気やめまいのおそれ



3・組成・成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物
含有成分及び含有量

| 成分・化学名 | 含有量M% | CAS No. | 化審法No | 安衛法No. | PRTR法No | 毒劇法No |
|--------------|-------|----------|--------|--------|---------|-------|
| アルコキシシラン | 30～40 | 非公開 | 非公開 | 非該当 | 非該当 | 非該当 |
| ヘキサメチルジシロキサン | 30～40 | 107・46・0 | 2・2956 | 非該当 | 非該当 | 非該当 |
| エタノール | 20～30 | 64・17・5 | 2・202 | 61 | 非該当 | 非該当 |

4・応急処置

- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易にはずせる場合にははずして洗うこと。眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。付着した部分を多量の水と石鹼で洗うこと。汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が回復しない時は医師の手当て、診断を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぎ、速やかに医師の手当て、診断を受けること。

5・火災時の処置

- 消火剤 小火災：粉末消火剤 二酸化炭素 一般の泡消火器
大火災：散水 噴霧水 耐アルコール性泡消火器
- 消火方法 : 状況に応じ、上記の消火器で消火する
消火後も大量の水を用いて、十分に容器を冷却する
- 消火者の保護 : 消火作業の際は適切な保護具(耐熱着衣、呼吸保護マスク)を着用する。

6・漏出時の処置

- 漏出付近から着火源や可燃性のものを速やかに取り除く。
着火に備えて適宜な消火器を準備する。
少量の場合：土砂、ウエスを用いて吸収させて空容器に回収する。その後漏出区域を多量の水で洗い流す事。
多量の場合：土嚢などで流出を防ぎ、ポンプ等で空容器に回収する事。回収作業の際は保護手袋、保護マスクを着用する。
室内で漏出した場合は窓、ドアを開けて十分に換気を行なう。
河川や一般排水溝に流出しないように注意する事。
火花が発生しないように、プラスチック製の器具を用いて回収する。

7・取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い上の注意
周囲で火気、スパーク、高温物の使用は避ける事。
換気の良い所で使用し、使用後は必ず密栓する事。
暴露防止のために皮膚、目、顔を保護する適切な保護具(保護手袋、保護マスク、ゴーグル等)を着用する事。

取り扱い後は手洗い、うがい、洗顔を十分に行なう。衣類に付着した場合は着替える事。

温度40以上の所では取り扱わないこと。

保管上の注意

容器は密栓し、直射日光の当たる場所や高温になるところを避け、風通しの良い冷暗所で保管する事。

保管は周囲での火気、スパーク、高温物との接触する場所を避ける事。

温度40以上になる所に保管しないこと。

子供の手の届かない所に、施錠して保管すること。

8．暴露防止及び保護措置

| 成分 | 管理濃度 | 許容濃度（日本産業衛生学会） | 許容濃度（ACGIH） |
|-------|------|----------------|-------------|
| エタノール | 設定なし | 設定なし | 1000ppm |

設備対策：防爆の電気・換気・照明機器を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

保護具 呼吸器用保護具：必要に応じて防毒マスク（有機ガス用）を使用する。

眼の保護具：必要に応じて保護眼鏡を使用する。

皮膚の保護具：必要に応じて保護手袋等を使用する。

9．物理的及び化学的性質

| | |
|--------|------------|
| 外観・形状 | ：無色透明液体 |
| 臭気 | ：アルコール臭 |
| 溶解度 | ：水不溶性 |
| 沸点 | ：138-144 |
| 密度（比重） | ：0.80～0.82 |
| 引火点 | ：0 以下 |
| 発火点 | ：データなし |

10．安定性及び反応性

| | |
|------------|------------------|
| 安定性 | ：通常条件では安定 |
| 危険有害反応可能性 | ：常温にて引火性ガスを発生させる |
| 避けるべき条件 | ：高温への暴露 |
| 危険有害な分解性生物 | ：なし |

11．有害性情報（人についての症例・疫学的情報含む）

| | |
|----------------|--|
| 急性毒性 | ：区分外 |
| 皮膚腐食性・刺激性 | ：分類なし |
| 眼に対する重篤な損傷・刺激性 | ：人の角膜上皮の損害、結膜炎充血は1.2日間で回復する。強い眼刺激（区分2） |
| 呼吸器感受性 | ：データなし |
| 皮膚感受性 | ：区分外 |
| 生殖細胞変異原性 | ：遺伝子性疾患のおそれ（区分1） |

生殖毒性 : 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ (区分1)
 特定標的臓器・全身毒性 (単回暴露) : 呼吸器への刺激のおそれ (区分3)、眠気又はめまいのおそれ (区分3)
 特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露) : 長期又は反復暴露による肝臓の障害 (区分1)
 長期又は反復暴露による神経の障害のおそれ (区分1)
 吸引性呼吸器有害性 : 情報なし

12. 環境衛生情報

水生環境急性有害性 : 区分外
 水生環境慢性有害性 : 区分外

13. 廃棄上の注意

関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体が処理を行なっている場合にはそこに委託して処理する。

14. 輸送上の注意

陸上輸送 : 消防法に該当する数量以上を輸送する場合は法令に従って輸送する事。
 海上輸送 : 船舶安全法の規定に従う。
 安全対策 : 取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従うこと
 容器は転倒、転落、衝撃などを避けること。
 容器は温度の上昇を防止すること
 火気の使用を禁止すること
 移送時にイエローカードの保持が必要
 「指針番号128 引火性液体 非極性/水不溶」
 「海上・航空/国外輸送の場合」
 下記項目を危険物明細書に記入し船舶会社、航空会社に提出する事。
 分類 : クラス3 項目 : 引火性液体
 国連番号 : 1993 容器等級 :
 海洋汚染物質 : 非該当

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 危険物引火性の物
 名称等を通知すべき有害物 (エタノール)
 消防法 : 危険物第四類 第1 石油類
 船舶安全法 : 引火性液体類
 航空法 : 引火性液体
 劇毒物法 : 非該当
 PRTR 法 (化学物質管理促進法) : 非該当

16. その他の情報 引用文献等

配合原料のMSDS (製品安全データシート)
 MSDS 作成指針 (日本オートケミカル工業会)

各関連法規

注意

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として取り扱う事業者提供されるものです。

取り扱う事業者はこれを参考として自らの責任において、個々の取り扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。

従って、本データシートそのものは安全の保証書ではありません。

[会社情報]

販売者：紀の国スズキ(株)
所在地：和歌山市梶取324
TEL:073-451-7600